昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和52年1月1日発行毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

87 JANUARY 1977



本誌専用合本バインダー予約受付中

バドミントン界1年分12冊を，穴もあけず，ノリも不要の便利な合本バインダーを受付中です。定価 500円（送料実費）です。ご希望の方はハガキで下記日本バドミントン協会出版局あて申込冊数明記のうえお申し込みください。代金後払いでお送りいたします。

別冊
1977年バドミントン・カレンダー
The Badminton World '77
が発行されました
〈残りがわずかとなりました〉

日本バドミントン協会では，昨年別冊 The Badminton World '76 カレンダーを発行し，大変ご好評をいただきましたが，今年は，全ページカラーで発売中です。大きさはB3判（週刊誌の4倍大）12ページ。定価 950円（送料実費）。収録選手は1976年の国内大会で好成績を収めた次の男女選手です。

◆男子◆小島一平・池田信孝・栂野尾昌一・銭谷欽治・飯野佳孝・土田証雄・長谷川博幸・西村正美

◆女子◆湯木博恵・栂野尾悦子・池田美加・徳田敦子・秋本八代美・谷美津代・秋本幸子・植野恵美子

The Badminton World '77 カレンダーをご希望の方はハガキで下記日本バドミントン協会出版局あてお申し込みください。代金後払いでお送りいたします。

●好評発売中
「ユーバー杯奪還への道」

「第7回世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会」の全記録を収録。カラーを含む数十枚の写真によって各国出場選手のプレーを分析できる選手・指導者必携の書。

- ●編集＝バドミントン界編集部
- ●著者＝本田弘敏・小宮淳宏・小飼栄一・後藤忠弘・福井正康・宮永武司・中山紀子
- ●写真撮影＝山田真市
- ●定価 1,000円（送料 120円）

お申込みは下記日本バドミントン協会出版局へハガキでどうぞ。

バドミントン界編集部

〒150 東京都渋谷区神南1－1－1
岸記念体育会館内

バドミントン界
THE BADMINTON WORLD
NO. 87

1977年1月号　　目次

表紙撮影，本文中写真・山田真市，読者　イラスト・中島　潔

〈新春特別寄稿〉
日本バドミントン協会の使命と今後の課題……和田　寿……2

〈昭和51年度全日本総合選手権大会・総評〉
ユ杯奪還どころでない女子の不振……後藤　忠弘……6
〈ヒーロー〉
どんとやってみよう！ 欽チャン……6
〈ハイライト〉
二つの“三冠”を達成した梶野尾夫妻……7

〈第5回日中バドミントン競技会〉
訪中役員団報告……上原　正士……8
ー昭和51年10月1日・北京飯店においてー
大いに意見を交換し、協調しよう……10

〈第6回国際バドミントン競技会〉
近づく国際大会……14
大物はじめ8選手が来日
◇山梨大会＝2月11日　◇大阪大会＝2月12日　◇東京大会＝2月13日
◇主な日本選手の横顔

●第5回日中バドミントン競技会に同行して……青木　昭二……21
●関西と関東……上原　正士……23
●積極的な交流を……鷲尾　正一……23
●チャンスを生かせ……西尾真理子……24

われらのクラブ ②

大阪中央YMCAバドミントンクラブ……北出　隆……25
●幸せボロボロあなたはいらない……26
●全日本総合選手権プログラムについて……26
●日本協会30周年に各界からお祝い……28
●読者と編集者……28

◎公認審判昇級申請者一覧と判定……29
◎バドミントン界バックナンバー販売一覧表……30
◎編集室から……32

〈新春特別寄稿〉

日本バドミントン協会の使命と今後の課題

九州歯科大学教授　和田寿

本立って道生ず――これは論語の学而篇の最初にでてくる言葉である。古の賢人は実にうまいことを言っている。現在までの日本バドミントン界を大観してみると、十年余り前、日本女子選手が世界征覇の偉業を成しとげる以前の約二十年間は、バドミントンに対する一般の認識と理解が非常に少なくて、その発展も遅々たるものであった。協会役員はいかにして一般に広く普及させ、その地位を引き上げるかにずいぶん苦労したものである。それが日本女子の世界征覇を機として、花開き、一般の認識も高まり、そのスポーツ界に対する地位も非常に向上してきた。

これはその揺籃時代から、再び得られないであろう名会長本田弘敏氏の献身的な情熱と叱咤激励の下に全国の協会役員のたゆみない努力の結果であったと思う。

世界の日本――国際的にもクイーンになった日本バドミントン界の黄金時代が出現した。今やその層は小中学生から家庭婦人に至るまで燎原の火のごとく拡がりつつある。

しかし栄光の美酒に酔いしれた日本バドミントン界最近の姿は――驕れる者久しからず、盛者必衰の理どおり次第に衰弱のきざしを見せ、協会運営も惰性とあせりと行きづまりの交錯した雰囲気の中に暗中模索しているように思われる。

こうした時こそ本に立ち帰ってその進むべき道を再確認し、その方策を樹立する必要があろう。

アマ・スポーツの目標と目的――およそ競技というものは人間の競争本能に立脚した身体活動である。そこで競争であるならば「勝つ」ということが目標である。我々は勝利の栄冠を得るために、あらゆる苦しい練習をし、他人よりも余計に努力することにより、その体力、精神力、技術を向上させ、勝利の獲得に向って努めるのである。

しかし勝つことはどこまでも目標であって目的ではない。我々は勝つという目標に向って努力を重ねてゆく――そのプロセスにおいて個人的には体力を向上させ、何物にも負けない不屈不撓の精神力を培い、人生に希望、生き甲斐、充実感を持つことができる。すなわちスポーツは個人の幸福につながるものである。また社会的、国際的視野に立って眺めれば、スポーツはその交流によって、とかく競争と対立の社会生活、国際社会の中に親善

と明るさを与えるものである。これがスポーツの目的であり、クーベルタンがオリンピック競技は「参加することに意義がある」といったゆえんである。従って日本バドミントン協会の使命は、バドミントン競技の普及を通じて一人でも多くの人々にその恩恵を与えることにあるのである。地方、本部協会を通じて、その指導者たるものは常にこの基本理念に立って一人でも多くの人々に幸福を与え、明るい社会建設の崇高な使命感に生き甲斐を感ずべきである。

そこで普及という大使命を達するにはそれぞれの分野で、その使命を果たすことが必要である。普及の前線は各支部協会（都道府県・職域団体）である。各支部協会はその傘下にある人々にあらゆる機会（大会・講習会・その他）を通じて、この競技を楽しむ場を作ってやり、また指導の手をさしのべてやるべきである。

本部協会は、支部協会から出てくる優秀なプレイヤーをピックアップしてさらに磨きをかけ、国際的に優秀な成績をあげることによって、バドミントンに対する社会の関心と理解を深め、さらにその地位を向上させて一般愛好者が本競技を誇りをもって行なえるように仕向けることが第一の使命である。第二の使命は支部協会指導層に対して、指導面において適切な指導助言をすることである。これが本部協会の支部協会への贈物である。

よく地方の代表者が、本部協会は吸い上げるだけで、何らのはねかえりがないと訴えるが目に見える現物支給を求めるならば、それは本質をわきまえない無理な注文であろう。

かつて日本女子がユ杯選手権を獲得し、これを十年間維持したことが、どれだけ一般を刺激し、その啓蒙普及に貢献したかを考えるとき、これこそ地方への最大のはねかえりであると思われる。本部、支部ともにそれぞれの立場に立って使命完遂に努力すべきである。

今後の問題点

1、日本バドミントン協会は長期的ビジョンを持て

以上のような使命を再確認して、それぞれの立場に立って長期的な努力目標を作り、それが上意下達、下意上達、役員から全会員までその目標が理解され、全員がそれぞれの持場で努力することが必要である。

現在の日本バドミントン協会に望まれるもの――それは優秀で実行力ある指揮官、これを補佐する優秀な企画性をもつ参謀、これらを中心にまず長期的視野に立ったビジョンを作ることである。目先の小細工でなくて、じっくり腰をおちつけて他日の大成を期すべきである。そのためには役員の充実が必要で、京浜を中心とした有能な若手役員の起用、地方の有能な指導者を含めたベストメンバーで日本協会の再編成をすることが重要である。

2、ビジョンの中味

イ　長期的な選手強化策の樹立

全日本を網羅した優秀な指導者をもって作った強化委員会が組織され、人材の発掘、育成、完成への一環作業が行なわれなければならない。

ロ　指導委員会の充実

優秀な人材発掘のためにも各層への普及のためにも全国津々浦々まで、適切な指導のできる情熱ある指導者が充実して、その中心に本部の指導委員会があり、常にそれらと連絡を保ちながら指導と助言をなしうる能力と熱意を兼ね備えた人材を以て組織されることが重要である。

ハ　経済的基礎の確立

以上の組織が活動して効果を挙げるためには資金面の問題がある。単に会員や支部協会の会費ではどうにもならない。浄財を篤志家に仰ぎ崇高な使命達成に利用することは何ら遠慮すべきことではない。この点での有能の士を協会に得ることは非常に重要なことである。

3、シャトルの問題

かつて陸鳥球を使っていた日本バドミントン界が水鳥球使用にふみきって十数年を経た。当時はそれなりに成功であったが、今や推定人口数百万とも言われ、年間使用数：水鳥球約三十万打、陸鳥球約七万打、合成球約十万打という現状である。最近は小学生、家庭婦人の間にも非常な勢で滲透しつつある現状で今後益々その需要はふえつづけるであろう。

これら愛好者が使用するシャトルの中心は、

水鳥球で、そのすべては輸入にたよっている。原毛の輸入が増加するに従い、不利な条件を押しつけられ、それも原因して価格も年々高騰をつづけている。このまま放置するならば、近き将来この面から普及発展が行きづまる恐れなしとは言い切れない。

高くても入ってくる間はまだよい、一旦国際情勢の変化で輸入が停った時は日本バドミントンはお手あげである。

安いエネルギー石油の上に成り立っていた日本経済の繁栄が、一旦値上げされた途端に不況下の物価高で悩まされている現状は日本バドミントン界への警鐘でもある。

国際関係は誠に微妙である。一戦闘機の日本亡命が日ソ経済関係まで影響していることを見てもよくわかる。

そうした不安定な条件の用具の上になりたっている日本バドミントン競技の前途は誠に憂慮すべきものがある。

君子は人の憂いに先立って憂うという言葉があるが、協会役員たるものは当然この憂いを持つべきではないか。

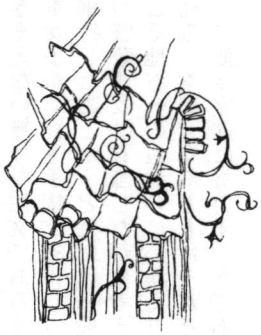
これを解消するものは水鳥球に代る合成球の開発である。少なくとも小中高校生家庭婦人、一般愛好者はこれに切りかえ、きわめて高度の技術を要求される層だけが水鳥を使用すべきではないか、日本バドミントン協会はこの方向を指向して、合成シャトルの研究改良に真剣に取り組むべきである。

日本製合成シャトルの中にはかなり優秀な製品もでているし、さらに業者と協力して、より水鳥球に近い打球感、寒暑に対応できる二種類の球、耐久力、価格等で一層この面の研究を真剣にやり、或時期には一定の大会はこれに切りかえる英断が必要である。

むすび

以上意をつくさないまま、思いつきのまま暴言をもって諸々の提言をしたが、要するに日本バドミントン協会は自民党に例をとるわけではないが一転機を迎えている。これに対処するためにお互いに英知をかたむけてその方策を探るべきである。

我々の敬愛する本田会長は念願として男子の世界制覇を天皇陛下に約束したと執念のごとくその実現を期待され夢みておられる。この会長の恩に報いるためにもこの時期にいかなる方策をもって協会を運営してゆくか、一人一人の役員は真剣に考えるべき一転機に逢着している。



ユーバー杯奪還への道

代金後払いにて発売中

●**体裁**＝A5判128ページ、うちカラー16ページ

●**主な内容**

第Ⅰ部＝**大会経過と試合全記録**

☆必勝の念で出発☆波乱を含み準決勝へ☆ベック接戦の末敗る☆日本ついにV4ならず☆ユーバー杯チーム合宿記☆観戦記・決勝全ストローク・プレー

第Ⅱ部＝**ユーバー杯奪還対策をさぐる**

☆これからの若手育成が肝要（小宮淳宏）☆選手よもっと自分にきびしくあれ（中山紀子）☆全世界に眼を向けよう（福井正康）☆背水の陣で総力をあげてがんばろう（片岡輝明）☆第7回ユーバー杯大会日本チーム監督として（小飼栄一）

第Ⅲ部＝**オフ・ザ・コート**

☆忘れられないこの一年間（中山紀子）☆SAIPON???（福井正康）☆選手団日記

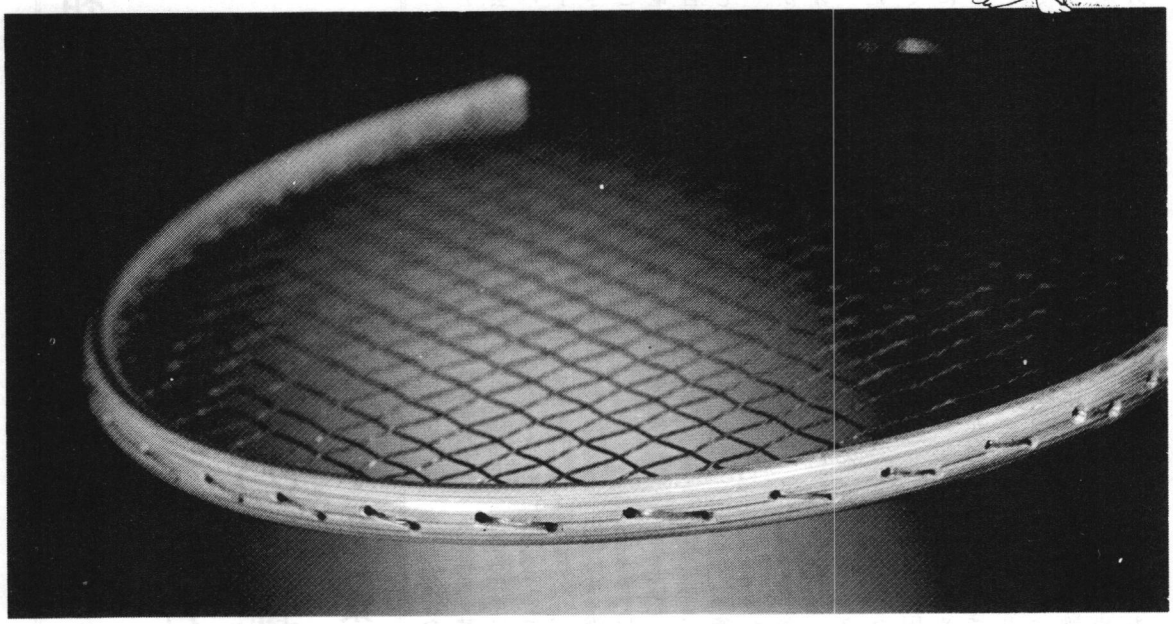
●**定価1000円**

●**申込方法**＝ハガキに住所・氏名・申込部数を明記のうえ、左記あてお送りください。

●**申込宛先**＝〒150東京都渋谷区神南一ノ一ノ一・岸記念体育会館内・日本バドミントン協会出版局ユ杯係



竹の特性を生かした話題のバンブーラケット!!



竹製なればこそ発揮できる威力がバドミントンのプレーに適した材質の特性であることに着目して、その研究成果を集積、ここに今話題のバンブーラケット〈ハイ・トーマス〉が誕生しました。

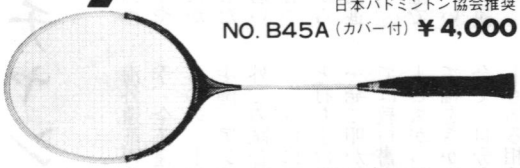
■竹と木の合板による強靭なフレームと細くて長いテーパーシャフトによる抜群の反撥力と反撥音。■薄いフレームに竹独特の強さとしなりがシャープな振りと動きを可能にします。■ガット張りによるラケットの変形が起らない。■ソフトグリップが手に良くなじみます。

バドミントンラケット〈ハイ・トーマス〉

Hy-Thomas

日本バドミントン協会推奨

NO. B45A（カバー付）¥4,000



株式会社ゴーセン

本　　社・大阪市東区鎗屋町4　　TEL.（06）942-5816（代）
東京支店・東京都台東区蔵前4-14-2 TEL.（03）862-6576（代）
福岡営業所・福岡市中央区薬院1-4-8 TEL.（092）712-5247～8

理想のガット〈ウインテックス〉!!

Wintex Racket String

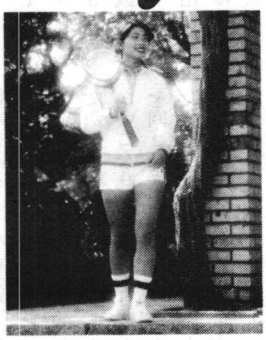
TOURNAMENT GAUGE
1.37mm for TENNIS　0.73mm for BADMINTON



弾力性・耐久性バツグンのステンレススチールワイヤー巻きの高級ガットです。

すばやい動きがいつもフレッシュ!!

Wintex WEAR



●カタログは、最寄の有名スポーツ用品店又は、(株)コーセンスポーツ用品部迄お問合せ下さい。

〈昭和51年度全日本総合選手権大会・総評〉

ユ杯奪還どころではない 女子の不振

後藤忠弘（東京新聞）

「どうです。男子はいいでしょう」ナショナル・チームをひきいる日本協会の遠井常務理事が胸を張っていた。たしかにそのとおり、男子には全体として地力のついてきた感じがした。

特に、ひところ低迷を続けていた尾崎（電電東京）谷口（トヨタ自工）が目覚め、ダブルスプレーヤーとして定評のある土田（電電東京）が、シングルスにも、なかなかの進境ぶりを示し、チャンピオン銭谷（河崎）に迫った。

以上は、いずれも身長が1㍍80に近い人々であり〝高さ〟がバドミントンに占める意味を考えると、日本にとっての貴重な財産である。

ただ、バドミントンは攻撃力だけでは勝てない。尾崎は準々決勝で、小島（RS元町）に先行しながら、あっけなく引っくりかえされて負けた。勝ち急いだためである。この勝負はバドミントンがいかにメンタルなものであるか、また、きちんとツメてから叩く、という基本的なことを無視してはいけないかを示していた。

小島、秋山という小柄だが打たれて強い選手、守りからの反転攻撃のうまい存在は、なかなか貴重なものである。こうした大ベテランと対戦した選手は、実地にいい経験を積んだことになるが、それだけでなく、日本の第一線は、もっと、この人たちに学ばなければならない。

いまの日本勢の攻撃力は、そのままいすいとは、世界の舞台で通用しない。むしろ、打たれ負けのことが多い。その意味でも〝打たれて強い〟要素を無視できない。

正直にいって、女子には少々がっかりした。うっかりすると近い将来、韓国にも負けるようになるのではないか。韓国勢は昨大会でベスト4入りした宋香順に代わり、今回は呉研漢が準決勝にまで進んだ。

準決勝では、第1ゲーム（ポイントは忘れてしまったが）で線審の誤審ではなかったが、呉自身が〝誤審された〟と感ちがいした一球があり、それでクサったため、栂野尾夫人に逆転負けしてしまった。しかし、そんなハプニングがなければ、勝負はどうなったかわからない。

実際、韓国勢は植野（四条畷学園短大）や谷（サントリー）など、日本で一番大柄な選手を体格で上回り、パワー、スピードも豊かだった。現時点では、まだコーチ難だそうで、そのせいか、配球や試合運びにアカ抜けない点はある。しかし、その海外遠征の成果、だという。今季、全英遠征こそできなかったものの、ト杯（対マレーシア）中国、アジア選手権と三度、海外での試合経験を積んだ。

「へたにロング・サービスなど打ち上げると、レシーブから一発で叩かれますから」。国内では教科書どおり、ロング・サービスが〝シングルス用〟として幅をきかせているが、海外試合で、自分より高さも、スピードもある相手に、何の考えもなしにそんなことをしていたら、墓穴を掘るようなものだ、というのだ。

アジア選手権後、短い間だったが、甲府の秋山選手宅にやっかいになり、秋山、小島選手らを向うにまわして合宿練習をした。これも、かなり勉強になった、という。よい先輩に恵まれることも、選手の財産の一つである。

そのせいか、打ち急ぎが少く

〈ヒーロー〉

どんとやってみよう！ 欽チャン

2年ぶり2度目の優勝。初めて王座に上った二年前は、ややラッキーな感じがあった。だから、昨年、連勝目前に敗退したときも「やっぱり、まだ、若いな」大方の関係者は、そう思ったことだろう。だが、それから一年〝欽ちゃん〟は大きく前進した。

実業団と社会人の両選手権で優勝、全日本総合と合わせ、いうならば〝三冠王〟。実業団決勝では小島にストレート勝ち、また、三大会を通じて土田には一度も負けなかった。

全日本の決勝では、第1ゲーム、土田が角度のあるスマッシュを生かして、いきなり5－0とリードした。しかし、銭谷はここでサービスをショート・サービスに切り換えた。土田のレシーブの弱点を突いて、ゆさぶりをかけ、あっさりペースを自分のものにしてしまった。

このサービスの切り換えは、

潜在能力は、かなりなものだ。

さて、今大会をじっくり見た日本協会の幹部級役員諸氏が、その時点で、ユーバー杯女子世界選手権のメンバー6人を選べと、もしいわれたら、果して6人の名をすらすらと挙げられただろうか。

シングルスでは湯木（河崎）に敵なく、ダブルスでは栂野尾夫人（ヨネックス）植野（四条畷学園短大）組の〝即席〟コンビを、だれも阻めなかった。トップと、それ以下の落差が大きすぎる。

ダブルスでは、栂野尾夫人にうまく長所を引き出してもらった新鋭の植野も、シングルスでは、まだまだ課題が多いプレーぶりだった。とくに、弱いバックハンド・サイドを警戒してのスタンスが、逆にフォア・サイド前陣に〝空白〟をつくり、準決勝で、ベテラン湯木にそれを読まれていた。

「この一年で、最もよくなった一人」の近藤（日女体大）にしても、シングルスはともかくダブルスについては、まだ、あまりにも幼なすぎた。

ダブルスといえば、その不作は論外。ユ杯では、かりにシングルスを三人揃えられても、ダブルスは1勝も危ない、と思われるくらいだ。協会の強化関係者にいわせたら、一時間あっても〝お説教〟に足りないかもしれない。

考えてみれば、この女子第一線の不振の原因の大半は、その多くの選手を持つ、サントリー勢が振わなかったからだ。いい設備、おそらくは日本一恵まれた練習環境にいるのだろうに、太りすぎと思える選手が目立ち単複のベスト4に一人も食い込めなかった。再起を期待したいところだ。

〈ハイライト〉

二つの〝三冠〟を達成した栂野尾夫妻

夫・男子ダブルス、妻・女子ダブルス、そして、夫妻で混合ダブルス――栂野尾昌一（29）さんと悦子（26）さんの熱々カップルは、こうして異色の〝三冠〟に輝いた。

全日本総合選手権で、同一選手の三冠王は、男女を通じて未だ例がないが、栂野尾夫妻のように、夫婦で合わせて三つ、というのも初めて。二人ともシングルスのタイトルを取れなかったのは、ちょっともの足りないが、独身（シングル）におさらばして十カ月も経つのだから、まあ、かんべんしなければならないだろう。

同じ会社に勤務（ヨネックススポーツ）する二人が、大勢の祝福を受けて結婚したのは76年2月。以来、職場では上司と部下（昌一さんが営業二課長）、家庭では夫婦、プレーではパートナーという日が続いた。

混合ダブルスで二人が組んで初優勝したのは73年大会。実はこの時も昌一さんが池田（現在のパートナー）、悦子さんがあの相沢（現在プロ）とのコンビで、それぞれ男女のダブルスを制している。

ともかく、二人のパートナー同士の歴史は決して浅くはないが、前年の全日本では、昌一さんが挙式前の雑事に追われて忙しかったせいか、タイトルは悦子さんの女子ダブルス（パートナー植野）だけに終わった。

それで、結婚しても（か、したから、か、このへんの表現はむずかしいが）「ダメじゃないかといわれないよう、がんばらねば」と思っていました」と昌一さんはいう。

もっとも、ふだんの練習は場所が別々。夫は学生時代からの仲間、池田選手らがいる電電公社が主で、妻は社に近い東京・文京区体育館で練習することが多いからだ。

しかし、実業団、社会人そして、この大会と年間〝混合三冠〟を達成したところを見ると、独身時代にはなかった〝味〟が勝利の〝蔭の力〟だろうと、思わないではいられない。

「混合ダブルスをやると、スピード、パワーにまさる男性のプレーに教えられることが多く勉強になります。特に、ネットプレーでは、その感じが強い」と悦子さんはいう。

混合ダブルスは、わが国ではまだ〝お遊び〟と見られがち。もちろん、その要素があることは否定できないし、プレーに楽しさも必要だ。が、半面、この種目が、他種目での技術向上に役立つ点も見逃してはいけない――と、これは余談だが……。

かつて全英選手権、全日本総合でシングルスを制したことのある悦子さん、71年にやはり日本一になったことのある昌一さん。二人とも、シングルスにはもうウェイトを置かないのだろうか。

「いや、そんなことはありません。たまたま、ぼくの場合は76年が卜杯の年でダブルスに重点を置いたものだから。二人とも、できるだけ長くプレーを続けたいし、シングルスの方でももう一度、花を咲かせたい、と思っているんです」昌一さんはこういって、愛妻に視線をからめた。

（G）

なった。当面の目標は「海外試合でベスト8に入ること」だそうだが、それには、178㌢の長身を生かす、もう一段のスタミナとパワー養成が大切だろう。

国内では、王座保持を「どこまでやるの」対外試合では「どんとやってみよう」欽ちゃん。

（G）

〈第5回日中バドミントン競技会〉

訪中役員団報告

団長　上原正士

昭和51年3月バンコックで、第2回目のABC会議が開かれた際、中華全国体育総会秘書長宋中氏より提案があり、日中両国バドミントン協会役員の話し合いを持って相互理解を深めたらどうかとのことで、第五回日中友好親善試合で訪中する機会に役員間の話し合いをすることになりました。

以下がその大略です。

なお、私達役員は出発前に日中文化交流協会村岡事務局長も交えて、小宮理事長にも出席していただき基本的態度について話し合いました。

すなわち、日本協会としては50年12月の第一回ABC会議、51年3月、6月の第2、第3回ABC会議で主張してきたことを、繰り返し中国へ伝えること、また中国協会の考えを充分にきいて、日本へ持ち帰り報告することを打ち合せて出発しました。

第1回　9月20日　上海
第2回　9月21日　広州
第3回　9月27日　杭州

日本側役員

今回の訪中では、貴国の提案により日中両国協会役員の話し合いの機会を持つことが出来たことを喜んでいる。

1973年、日中会議紀要がとりかわされて以来、その主旨に沿い日本協会は微力ながら努力を続けてきた。

また、今回の話し合いの焦点はIBFに中国の正当な権利をいかにして回復するかということと、ABCの中で日中が共同活動をするという二つの柱があって、これらから、いろいろな問題が具体的に話し合われることになると考える。

まず、IBFに関しては6月IBF総会時のワイアット会長裁定の件である。

ワイアット裁定については多少の疑問点はあるとしても、中国は最初のIBF加盟申請を電報でされたときいているので、これをさらに確認する意味で正式の書類で申請されることを希望する。

またIBFの運営、現行規約等に不満足の点もあるが、まず、中国がIBFに加盟されることが先決であり、それから規約運営方法も改めさせていくのが良策だと思う。

我々日本バドミントン協会は、従来通りなお一層の努力を続けていきます。

また、ABC内では、日本と中国が固く手を握りあって活動していきたい。

ABC加盟国には各国それぞれの事情もあると思う。日本協会の実情について申し上げればIBF加盟以来、役員選手とも、トマス杯、ユーバー杯、全英大会を目標に努力してきた30年間の流れがあります。

この10月インドで開催されるABC会議では、日本がABCにとどまりたくてもいられ

なくなるような情勢状況は、作り出してもらいたくないと思います。

日本は、ABCが世界を二つに割るような新体制の組織を結成することを考えるよりも、中国がIBFへ加盟できる事を希望している。

なお、中国に、IBFの役員を招待して話し合いをされては、いかがかと思います。

中国側役員

中華全国体育総会国際部　許徳迂氏

1973年に、会談紀要を結んで以来、IBFにおいて日本が中国の正当な立場の回復に力を尽くしてくれていることを感謝している。

1974、75年、中国はIBFにその議席を得るために申請しているが、日本やアジアの友人の力添えにもかかわらず、少数の反対国によってそれが果たされていないのは残念である。

日本、アジアの友好国といっしょになって不合理な規定や、家族的なIBFの運営について正そうと努力している。

IBFは非民主的である。我々の努力は実っていない。

先日のABC会議（バンコク）で我々はカベに当った。

バンコクの会議（3日）等で、日本と中国は今年に入って2度相互理解を深めた。そして今度、北京で今一度、その深める機会が持てる。

しかしバンコク会議以降、日本の立場、考え方に変化が生じたとするなら、北京の会議に中国としても対策を立てたい。

今度の北京会議はあわただしいものと思うが、インドの会談を迎えるに当って、大変重要な意味をもつものである。

ワイアット裁定は、中国問題を解決するとは思えない。それは台湾と中国と両方に加盟申請を出せとのことだ。これは二つの中国を認めるということで、これは内部干渉である。

また、スウェーデンで新たな提案を考えているという情報を得ているが、日本が知っているか。

一番よい方法はスウェーデンが台湾を追放し、中国の合法的議席を回復するという議題をはっきり定義して、ストックホルムの特別臨時総会で、単純多数決ということでなく、過半数の賛成を得て、中国の正当な議席を回復するようにすべきである。

台湾が現在、中国の正当なる議席をかすめるといっているのは、IBFの独裁的、帝国主義的なものから発しているもので、我々はそういう体制に対して闘っていかなくてはならない。

私達の申請は、73年に出しているが、それは今でも有効と思うし正式の加盟申請である。

私達はワイアットが将一味を追放するかどうかに注目しているので、加盟申請が正式であるかどうかというより、その方が問題である。

私達は日本の友人達が新しい考え方、方法を示されたことを感謝しています。原則的なお答えをしましたが、日本の新しい提案の話し合いは、北京に行ってから進めたいし、北京に報告しておきます。

IBFは少数の指導者によって支配されている。（これは一環して来ている）中国代表権のこともIBFの少数の指導者で非民主的のあらわれにすぎない。

73年以降、アジアの団結があります。もっと強く団結していかなければならない。

各国の事情は事情と思う。また日本バドミントン協会の立場もよく理解している。

台湾は申請しないのではないかというが、中国が申請した場合、台湾がした場合、ワイアット裁定では台湾を追放することが、出来ないのではないか。

台湾は中国の省であるから追放することができる。

中国バドミントン協会、全国的な組織である省の組織的加盟でない。

IBFの規約は、一国でもなくても加盟することができる。

IBFは台湾を中国の一つの省であるから加盟できないとするべきである。

いろいろ話し合ったが、北京で最終、話し合いをしたい。いままでのことは北京に連絡しておきます。

バンコク会議（3日）等で、日本と中国は今年に入って2度相互理解を深めた。そして今度、北京で今一度、その深める機会が持てる。

――昭和51年10月1日・北京飯店において――

大いに意見を交換し、協調しよう

中国バドミントン協会　郭　会長

中国バドミントン協会を代表し、日本代表団の皆様を歓迎いたします。偉大なる指導者毛主席の逝去により、スケジュールに変化のあったことをご理解願いたい。列席の者を紹介します。石天曙、梁大鵬の二名です。今度インドへは、私を含めて三人で参ります。

私達は、中日友好を大変重視しています。毛主席は、日本民族は偉大であり、中日両国はきわめて近い隣人であり、我々が仲良くすることは、アジア、さらには世界にとって有意義な影響を及ぼすと申しておりましたが、スポーツにおいて日本は大変発展していますが、中国は未だ日本ほど発展していません。ですから、私達バドミントン界が相互に友好を発展させることは有意義なことです。

両国のバドミントン界が友好と団結を深め、共に発展させることに一致努力することは、互いに同じ考えだと思います。

当面問題となるのは、ABCの団結、IBFの闘争の問題で共に大事な問題です。

中日両国の友好を深めるだけでなく、世界の友好を深めることは、同じ考えだと思います。

私達は両国ともアジアに存在します。アジアには沢山の国々がありますが、それぞれ、一致した考えでないのは、しかたがないことです。しかし、私達は大局を主とし、アジアの利益を考えなくてはなりません。すなわち、大同を重んじ小異を残すことはやむをえないと思います。私達はアジアの友人達の為に努力したいと思います。

多くのアジアの国は、ABCにおいて互いの団結に向って努力していることを、バンコクの会議でみることができました。しかし、ひとにぎりの者が、この行動をとれない者がいたが、私は大変遺憾に思います。

伊藤先生も一緒に参加していたのでよくおわかりだと思います。私のいうのはインドネシアであります。

インドネシアは決してアジアと共に行動しているとは思えないでしょう。確かにインドネシアは強く実力のある国ですが、アジアの団結を乱しています。今年の3月、ABCにおいて、インドネシアがIBFに発言することになっていましたが、インドネシアは約束を守らず、裏切り行為をしました。そしてバンコクの会議中、団結を乱す行為をしました。このことは伊藤先生もご存知だと思います。

インドネシアはABCのために動いたのではなく、IBFの意志に従って動いた。この問題について私達はアジアの利益に反する行為をすればアジアの信頼を失うということを感じます。

彼等の中には、IBFの副会長がいます。彼等はアジアの代表であるにもかかわらず、アジアの利益に反する行為をしました。これは今後、大変大きな悪影響を及ぼすと思います。しかし、我々は日本がアジアのために積極的に、活動してくれることを嬉しく思います。

両国が、アジアのために活動することは、共同の利益につながり、バドミントンの発展にもつながります。IBFのごく少数の指導者の言をとれば、これらの言は決して最大多数の意見を反映していない。このことは世界の利益に反します。このことは、世界のバドミントン発展に反する行為でもあります。

彼等のとっている方策は、前時代的な考えで、帝国主義が植民地を統治するのと同じ行為であります。彼等は外国の内政に干渉し、不合理なルールを作り、これは覇権主義的な行為であります。

例えば、我が国のIBFの合法的な地位の回復についてでありますが、これは世界の大多数の国が望んでいるにもかかわらず、彼等はこの意志に反した行為をしています。将介石の反動政府は中国によって倒され、政治的には無力であります。しかもその台湾をIBFに残しておくことは現状を無視しています。

これは中国を二つに分けようと画策していることであり、このことは中国は許せません。このことは中国を敵視し、世界の多くの友を敵にまわしていることになるのです。多くの友人は私達に加盟申請を出すことをアドバイスし、私達も申請をしました。それは台湾を追放し、中国加盟という内容です。

彼等は陰謀を企てているのです。彼等はこの問題は中国は一つの会員を排除するには四分の三の賛成を得なくてはならないということです。そして四分の三の賛成が得られないという理由で中国の申請討論をしなかった。このことは計画的に中国加盟の邪魔をしていると思えます。

今年のバンコクの会議でも同じような行為が見られました。そのことは、最初に加盟申請についての討論であるべきであるのに、全くスウェーデンの場合と同じ行為でありました。各国の友人のバックアップにより、そして日本の努力により最後に申請問題が出されましたが、投票採決をせずに、会長採決となったのです。本来の憲章に従えば、一国の加盟は投票によるものと定められながら、会長採決という各国の民主的な判断によるものと定められながら会長採決という各国の民主的な判断をおさえる行為をしたのです。

この会長のとった行為は一中一台を意識的に画策したものと受け取れます。これは内政干渉です。そしてその言い訳は我国が出した申請書の内容にケチをつけたのです。

彼等は私達に申請しなおすように、そして台湾にも同じようにです。そして採決は、過半数ということです。

この決定はどういうものかというと、世界の大多数の意志に反した行為です。そして大変侮辱したことで、我が国の民族権に対し大変野蛮な行為です。もし私達と台湾が申請を出した場合、また振り出しに戻るのではないか。

私達中国は原則を重んじます。ですからこのような行為に対し、私達は許すことはできない。

彼等は私達の内政に対し、何ら決定権を持たない。ですから私達は受け入れるわけにはいかない。

・私達はこの問題について分析してみた。そして正義にかなわない要求を受け入れるわけにはいかない。そしてこのことは政治的な問題であり、バドミントンの問題ではない。

彼等から内政問題にふれてきたのです。自分の方から挑戦しておいて、逆に中国がスポーツに政治を持ち込んだと言いふらしています。

この問題において、真理は私達の方にあり、そのことは世界の友人は知っている。私達は、このような行為に反対しなくてはならない。

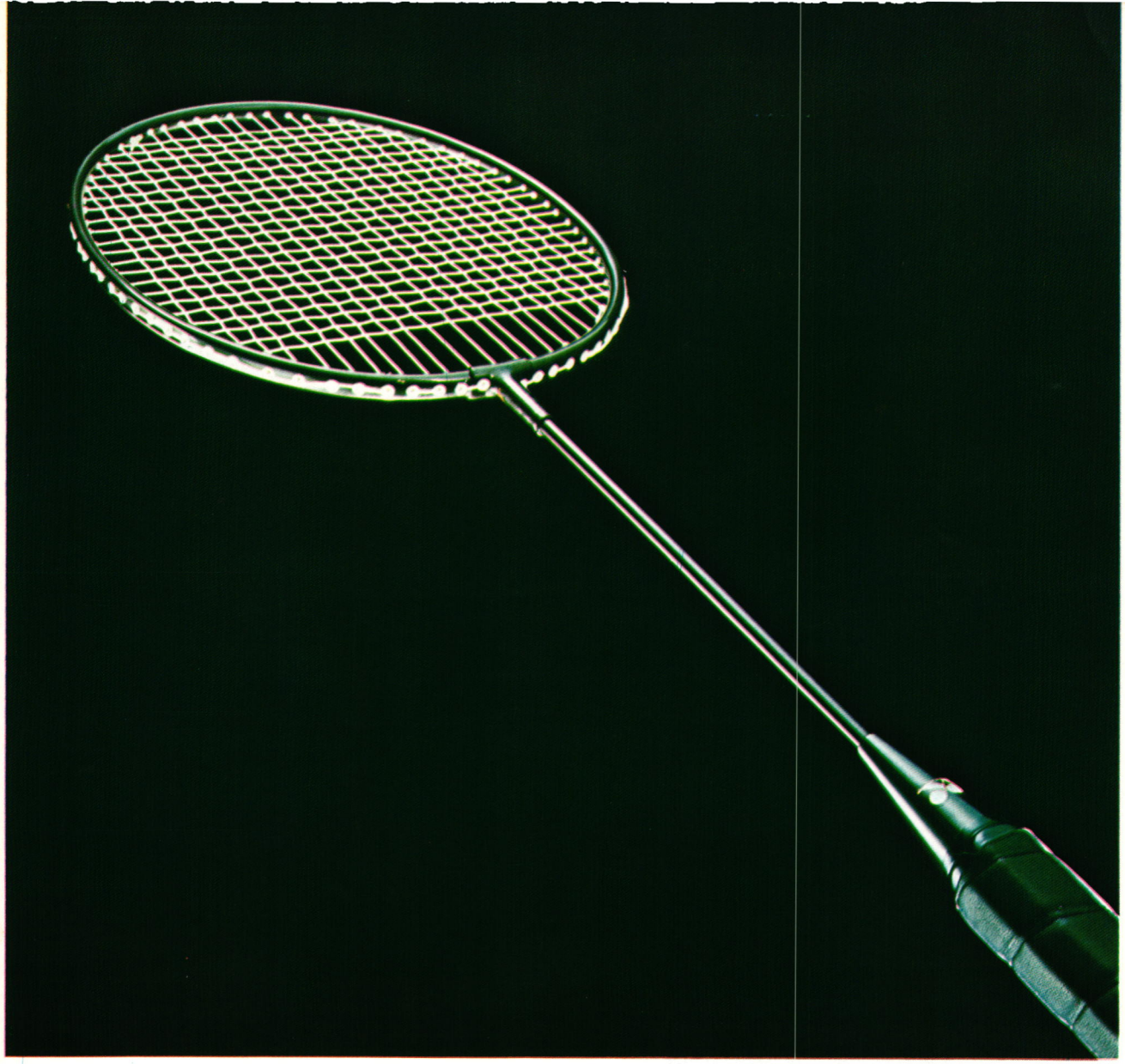
日本の友人が台湾を追放し、中国の合法的権利回復に努力してくれていることを感謝するとともに、今後も友好関係を継続したい。

アジアの友人は、従来の四分の三が過半数に変ったということをIBFが譲歩したと判断しているが、これはIBFの陰謀である。

ＩＢＦでは、我が国は全く被害者である。
各国が同じように権利を行使することは当然であり、ひと握りの者が、権利を行使することは決してよいことではない。
今日は、時間の関係で詳しくは話せないが、今まで述べたように私達は正当な権利を行使する闘争を行う為に新しい国際的な組織を作ることです。それはＩＢＦがほんのひと握りの連中に利用されているからであり、他のめぐまれない諸国が、せっぱつまって起こった考えです。それは理にかなっており、私達は支持します。
しかし、この問題は世界のより多くの人々と相談しなくてはならないのですから、日本がこの面でどうか心配しないでほしい。
しかし日本の皆さんもよくわかっていると思いますように、中国は正しいものを信じます。中国は、一、二ヵ国ぐらいの支持をより多くの国に押しつけるようなことはしない。
今日は、日本の皆さんにお会いし、ＡＢＣと中国はＩＢＦに対し、どのように対処しなければならないかを話しました。
今後も多いに協力していきましょう。
私達と日本バドミントン協会とは、友好的であり、今後もこれは継続していかなくてはならない。両国はアジアの利益にかなうような行為をしなくてはならない。
日本バドミントン協会の指導者がさらに中日バドミントン界の関係が深くなるようリードし、世界のバドミントン界が発展されるよう努力していただきたいと思います。

私達は日本の友人の協力的態度、アジアの団結に対する努力に対し、賛同しています。
バンコクのワイアット裁定については、小宮先生・高倉先生・伊藤先生が友好的立場に立って努力してくれていることに感謝しています。しかし、その時にも話しましたが、採決というものを技術的にみてはいけません。四分の三ということや単純多数決、中国問題解決の引きのばしであり、合理的な意見でない。
中国問題については、いかなる国、いかなる人も決定権を持たない、入会についても、会長が一人で下すものでなくて、会員が討論して決めることで、多くの会員を裏切ることである。
日本がＩＢＦの行為を、好意的に見ようとしているのはわかるが、物事には裏がある。
中国問題を解決するには、中国が悪いように言われ、中国が押しつけられる理由はないのです。日本のみなさんが、中国問題をできるだけ早く解決しようと努力されていることはわかるし、感謝しています。しかし私達が自分達の主権を主張する立場も理解してほしい。
日本の友人たちは、私たちの共同の利益を守るため沢山の努力されていることを感謝し、日本に帰ったら協会の指導者や、友人の皆さんに中国の最も友好的な挨拶を伝えて下さい。
今日は、お会いしたばかりなのに、勝手を言って申し訳ありません。皆さんは、中国訪問時間が大変短いので率直に言わせていただきました。
皆さんは、私達の友人であり、お客さんであります。できるだけ沢山いろいろと見ていただきたかったのですが、こういう話し合いの場を持つこともよかったのではないかと思います。
今後も近隣同志なので、多いに往来し意見を交換し、協調していこうではありませんか。
コーチングセミナーの日本側から出された時期について、私達はいろいろの状況を考えなくてはならないので、即答はできませんが、日本の希望にそうようにしたい。





時速270kmのスマッシュ!

まっ黒いラケットから、まっ白いシャトルコックが時速270kmのスピードで、相手コートにたたきつけられる。目にもとまらぬスマッシュ。今や噂のラケット、ブラッキー。その秘密はヨネックスが初めて可能にした、極細の特殊ステンレスシャフト。ぐんと細身で、普通より長目ですから、まるでムチのように打つ瞬間鋭利にしなります。息をのむ反発力です。そのうえ、特殊合金フレームの強さがプラスされ、切れ味のよい攻撃力。あそこで、ここで、ブラックパワーと恐れられています。

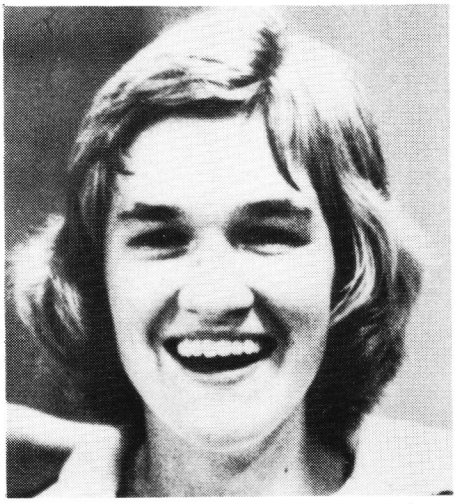
No.8100 BLACKEN

●No.8100ブラッキー……￥5,900

YONEX



④フレミング・デルフス（デンマーク）



⑤インゲ・ボルグストロム（デンマーク）



⑥ピア・ニールセン（デンマーク）

④フレミング・デルフス（デンマーク）
Mr. Flemming Delfs

- デンマーク少年選手権大会；1968，69，70年シングルス優勝。69，70年ダブルス優勝。68，70年混合ダブルス優勝。
- デンマーク国内選手権大会；1971，75，76年シングルス第2位。73，74年ダブルス第2位。75，76年ダブルス優勝。
- デンマークオープン選手権大会；1973年シングルス第2位。
- 北ヨーロッパ選手権大会；1976年シングルス第2位。74年ダブルス優勝70，75，76年ダブルス第2位。
- ヨーロッパ少年選手権大会；1968年シングルス優勝。
- ヨーロッパ選手権大会；1976年シングルス優勝。
- 世界招待大会；1975年シングルス第2位。
- 1972～73，75～76の2回にわたりトマス杯大会にデンマーク代表として出場したのをはじめ，25回の国際大会出場のキャリアをもつ。25歳。

⑤インゲ・ボルグストロム（デンマーク）
Miss Inge Borgström

- デンマーク少女選手権大会；1975年シングルス優勝。75年ダブルス優勝。
- 北ヨーロッパ少女選手権大会；1974年シングルス優勝。74年ダブルス第2位。
- ヨーロッパ少女選手権大会；1975年ダブルス第2位。
- デンマーク国内選手権大会；1975，76年ダブルス第2位。75年混合ダブルス第2位。
- デンマークオープン選手権大会；1975，76年ダブルス第2位。
- 北ヨーロッパ選手権大会；1976年シングルス第2位。
- 1974～75年のユーバー杯大会のデンマーク代表選手となったのをはじめ，過去デンマークを代表して7回の国際大会に出場している。18歳。

⑥ピア・ニールセン（デンマーク）Miss Pia Nielsen

- デンマーク少女選手権大会；1974年シングルス優勝。75年ダブルス優勝。
- 北ヨーロッパ少女選手権大会；1975年シングルス優勝。74年ダブルス第2位。75年混合ダブルス優勝。
- ヨーロッパ少女選手権大会；1975年シングルス優勝。75年ダブルス第2位。
- 北ヨーロッパ選手権大会；1976年シングルス第2位。76年ダブルス優勝。75年ダブルス第2位。20歳。

⑦ベント・フローマン（スウエーデン）Mr.B.Fröman
1976年全英選手権大会ダブルス優勝，（詳細未着）。

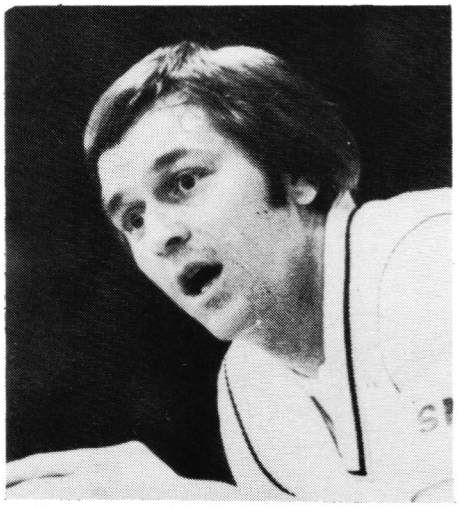
⑧トーマス・キールストロム（スウエーデン）
Mr. T. Kihlström
1976年全英選手権大会ダブルス優勝。（詳細未着）。



①マーガレット・ロックウッド（イギリス）



②ノラ・ガードナー（イギリス）



③スヴェン・プリ（デンマーク）

近づく国際大会—2/11～13

大物プリはじめ８選手が来日

—全英チャンピオンペアも!!

◇来日外国選手の横顔

①マーガレット・ロックウッド（イギリス）
Mrs. M. Lockwood

英国を代表し過去40回の国際大会に出場。英国国内選手権および女子招待大会に過去連続４回シングルス優勝。全英選手権大会1973年シングルスに優勝，1974年にはギリアン・ギルクス夫人と組んでダブルス優勝。また1974年ジャカルタにおける世界招待大会においてシングルス優勝，そして1975年世界招待大会においては同じくギルクス夫人と組んでダブルス優勝。本年度英国女子シングルス・ランキング１位，旧性ベック24歳。

②ノラ・ガードナー（イギリス）Miss N.C. Gardner

英国を代表し過去10回国際大会に出場。最近の英連邦大会バドミントン競技においてポール・ウエトナールと組み，銀メダルを獲得，1975年全英選手権にエリオット・スチュアートと組み優勝。昨年および本年度の英国混合ダブルス・ランキング１位，22歳。

③スヴエン・プリ（デンマーク）Mr. Svend Pri

- デンマーク少年選手権大会；1963，64年シングルス優勝
- デンマーク国内選手権大会；1966，68，69，70，72，73，75年シングルス優勝。70，71，73，74年ダブルス優勝。68，71，72，73年混合ダブルス優勝。
- デンマークオープン選手権大会；1966，69，72，74年シングルス優勝。68年シングルス第２位。67，70年ダブルス第２位。67，71，72年混合ダブルス第２位。
- 全英選手権大会；1970，72年シングルス第２位，75年シングルス優勝。67，76年ダブルス第２位。67，71，72年混合ダブルス優勝。
- 北ヨーロッパ選手権大会；1971，73，74年シングルス優勝。66，68年シングルス第２位。68，69，70，71，72，74年ダブルス優勝。66年ダブルス第２位。70年混合ダブルス優勝。71年混合ダブルス第２位。
- 世界招待大会；1974年シングルス優勝
- その他ヨーロッパにおける各国国際大会においてしばしば優勝。
- 1966～67，69～70，72～73，75～76年の過去４回のトマス杯大会にデンマーク代表として出場したのをはじめ，38回の国際大会に出場している。30歳。

第6回国際バドミントン競技大会

◇山梨大会＝2月11日

主　　催＝日本バドミントン協会・山梨県教育委員会・山梨県体育委員会・山梨県バドミントン協会
後　　援＝東京12チャンネル・山梨日日新聞社
開　　場＝午前10時
競技開始時刻＝午前11時
終了予定時刻＝午後4時
会　　場＝山梨県体育県
交　　通＝甲府駅バス湯村グランドホテル前下車徒歩5分
試合順序＝①女子シングルス　②女子ダブルス　③男子ダブルス　④女子ダブルス　⑤男子シングルス　⑥男子シングルス
入場料＝特別席・2,000円　一般席・1,000円　中高生・500円
前　　売＝特別席・2,000円　一般席・1,000円　中高生・500円
前売場所＝各有名スポーツ店内
使用シャトル＝河崎ラケット工業㈱「エリートデラックス」
ヨネックススポーツ㈱「トーナメントデラックス」
出場日本選手＝小島一平・池田信孝・栂野尾昌一・秋山真男・湯木博恵・秋本八代美・栂野尾悦子・落合光子・徳田敦子



第6回国際バドミントン競技大会

◇大阪大会＝2月12日

主　　催＝日本バドミントン協会・大阪府バドミントン協会
後　　援＝東京12チャンネル・大阪府教育委員会・大阪市教育委員会・読売新聞社・報知新聞社
開　　場＝午前12時30分
開 会 式＝午後1時30分
試合開始＝午後2時
終了予定時刻＝午後4時30分
会　　場＝大阪市中央体育館（東区法円坂ＮＨＫ前）
交　　通＝地下鉄谷町4丁目駅下車徒歩5分
試合順序（2コート使用予定）
第1コート＝①男子シングルス　②男子ダブルス
③男子シングルス　④男子ダブルス
第2コート＝①女子ダブルス　②女子シングルス
③女子ダブルス　④女子シングルス
⑤混合ダブルス
入 場 料＝S・2,000円　A・1,500円　B・1,000円　B(小中)500円
前　　売＝S・1,800円　A・1,300円　B・900円　B(小中)400円
前売場所＝大阪市内美津濃スポーツ・大一スポーツ
使用シャトル＝河崎ラケット工業㈱「エリートデラックス」
ヨネックススポーツ㈱「トーナメントデラックス」
㈱諸江製作所「サンバタキング」
㈱ゴーセン「ゴールド」
出場日本選手＝銭谷欽治・鷲尾正一・遠藤和夫・土田証雄・飯野佳孝・栂野尾昌一・栂野尾悦子・植野恵美子・石川好子・秋本幸子・谷美津代・徳田敦子

第6回国際バドミントン競技大会

◇東京大会＝（2月13日）

主　　催＝日本バドミントン協会・東京都バドミントン協会
後　　援＝東京12チャンネル・報知新聞社・読売新聞社
開　　場＝午前11時
終了予定時刻＝午後5時
会　　場＝国立競技場代々木第2体育館
交　　通＝国電原宿駅下車徒歩5分
試合順序＝①男子シングルス　②男子ダブルス　③女子シングルス
④男子ダブルス　⑤女子ダブルス　⑥混合ダブルス
入場料＝ＳＳ・2,000円　Ｓ・1,500円　Ａ・1,000円　中高生・500円　小学生・無料
前　　売＝ＳＳ・2,000円　Ｓ・1,300円　Ａ・800円　中高生・400円　小学生・無料
前売場所＝都内各プレイガイド・日本バドミントン協会事務局
ヨネックススポーツ㈱「トーナメントデラックス」
使用シャトル＝河崎ラケット工業㈱「エリートデラックス」
㈱諸江製作所「サンバタキング」
出場日本選手＝銭谷欽治・栂野尾昌一・池田信孝・飯野佳孝・土田証雄
湯木博恵・栂野尾悦子・池田美加・近藤小織・米倉よし子



◇主な出場日本選手の横顔

①小島　一平　Mr.Ippei Kojima
全日本総合選手権・昭和41～45年，47～48年，50年シングルス優勝
〃　昭和42～44年，47年ダブルス優勝

②秋山　真男　Mr.Masao Akiyama
全日本総合選手権・昭和40年シングルス優勝
〃　昭和42～44年，47年ダブルス優勝

③池田　信孝　Mr. Nobutaka Ikeda
全日本総合選手権・昭和46年，48年～49年，51年ダブルス優勝

④栂野尾昌一　Mr. Shoichi Toganoo
全日本総合選手権・昭和46年シングルス優勝
〃　昭和45年，48～49年，51年ダブルス優勝
〃　昭和48～49年，51年混合ダブルス優勝

⑤銭谷　欽治　Mr. Kinzi Zeniya
全日本総合選手権・昭和49年，51年シングルス優勝

⑥飯野　佳孝　Mr. Yoshitaka Iino
全日本総合選手権・昭和50年ダブルス優勝

⑦土田　証雄　Mr. Masao Tsuchida

⑧湯木　博恵　Miss Hiroe Yuki
全日本総合選手権・昭和44年，47～51年シングルス優勝
〃　昭和46年，49年ダブルス優勝

⑨栂野尾悦子　Mrs. Etsuko Toganoo
全日本総合選手権・昭和45年シングルス優勝
〃　昭和43～45年，47～48年，50～51年ダブルス優勝

⑩秋本八代美　Miss Yayomi Akimoto
全日本総合選手権・昭和51年ダブルス第3位

⑪徳田　敦子　Miss Atsuko Tokuda
全日本総合選手権・昭和51年ダブルス第3位

⑫植野恵美子　Miss Emiko Ueno
全日本総合選手権・昭和50～51年ダブルス優勝

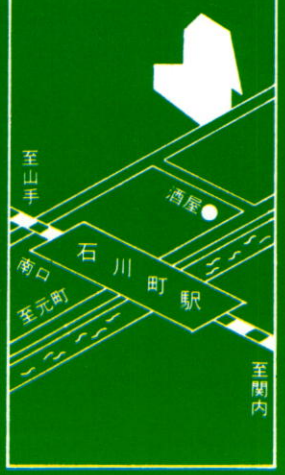
以上の選手のうち，秋山はシングルス第2位，池田(信)・栂野尾(昌)はダブルス第3位，湯木はシングルス，ダブルスに優勝，栂野尾(悦)も同じくシングルス，ダブルスに優勝という好成績を全英選手権で記録している。

ラケットショップ元町

●横浜店

☎045-651-2020

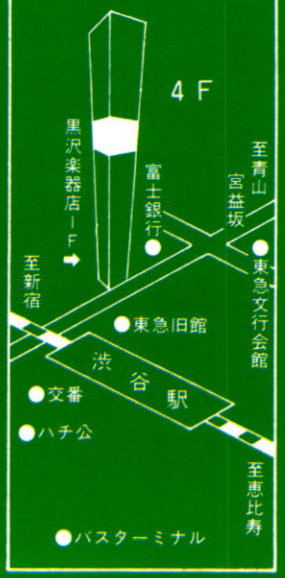
バドミントン
テニス
プロショップ



●渋谷店

☎03-400-7390

世界で初めての
バドミントン
プロショップ



第5回 日中バドミントン競技会に同行して

大阪バドミントン協会理事長
青木昭二

9月20日、朝9時、多数の関係者の見送りを受けて機上の人となった我々は、小雨の大阪空港に立寄り、一路上海へと向った。下界は天気が悪いのだろうか、雲ばかりで、全く見下すことができない。現地時間12時50分（日本とは1時間の時差がある）雨の上海に着陸。上海空港は日本では想像もできない程、広々としており、飛行機も殆んど見当らなかった。こゝで、日本の体育協会にあたる、中国体育総会の方々の出迎えを受けた我々は、その後も、国際部の許、通訳の李、劉氏ら三名の同行を受け、2週間のスケジュールを無事終えることができた。今までの交流試合であれば、移動のたびに歓迎のレセプション、試合前の開会式と相当華やかな光景が、くりひろげられるところであるが、今回、毛主席死亡の悲しみにつゝまれた中国での大会は、これらの行事がすべて中止され、試合だけが行われた。このような状況においても予定通り第5回日中大会が持たれたことに対し、真に頭が下がる思いであった。

戦績は、広州において、オール広東省チームと4対5、ナショナルチームとは、2回対戦し、2対7、3対7と連敗に終った。中でもシングルスでは、相当実力に差があると感じた。中国チームには、男子の湯仙虎、候加昌、女子の梁秋霞らの顔も見られた。彼らは日本の選手に真似の出来ない、すばらしい脚力によるフットワークを持っていると痛感させられた。この後杭州において中国青年チームと2回対戦し、結果は4対6、7対3。最終戦において、かろうじて一勝をあげることができた。それにしても、15、16才の少年少女が日本のナショナルチームと、堂々と試合をするのだから、中国の選手の層の厚さには、今さらながら驚かされた。

記録の詳細については、いずれバドミントン界（日本バドミントン協会機関誌）に掲載されることでもあるので、ここで少し、コート付近を紹介したいと思う。試合用語はすべて中国語で、ポイントは得分 de fen サーブチェンジは、換発球 huan fan qui、インは界内 jie nai アウトは界外 jie wai 数は日本でもなじみの、イー、アル、サン、スウー、ウーで10までは何んとか聞きとることができた。主審は得点のたびに、そのサイドの方の手を垂直に上げ、また、線審の判定を平気で変えることがあった。入場料は殆んど無料で、とったとしても、日本円にして、20円から40円とのことであった。試合は午後7時開始、コートを2面使い、すみやかに進行された。それでも終了は10時頃で、最も遅い時は11時にもなった。熱心な観衆は4、000人を収容する体育館をいつも満員にした。ホテルへ帰り寝るのは大抵12時になった。こんなスケジュールが平気で出来たのは昼食後1時間程の昼寝の習慣だった。（注、中国には昔から昼寝の習慣があるとか）、試合と練習のあいまには観光を大いに楽しんだ。数千年前の出土品を陳列した博物館。パンダも他の動物と同じ程度に感じた動物園。風光明媚で知られている杭州の西湖、すごい群衆で圧倒された北京での国慶節（10月1日）万里の長城、故宮の見物、手を振って歓迎してくれた幼稚園、小学校の児童、本当によく働く人民公社の人々に別れを惜しみつつ、10月3日午後日本に帰ってきた。（大阪バドミントン協会発行「広報」26号から）


MADE BY SUNBATTA
SUNBATTA
Rush
SunBatta
BADMINTON RACKET
S-75
Rush
サンバタ

関西と関東

日本バドミントン協会選手強化委員長

上原正士

日本を代表するナショナルチーム男女選手の上位各10人について大別すると、男子は殆んどが東京在住者でかつ出身高校は比較的北陸地方が多い。女子は半数が大阪在住者であり又出身高校別で見ると7人までが関西である。すなわち男子の場合東京で大学を卒業し引続き東京での就職者が多く、女子の場合大阪を母体として、殆んどが関西で就職していることである。なお現在大学在学中の者もいる。女子はさておいて男子についていえば、ナショナルチームのメンバーになる過程として、学生時代四年間の練習に関西と関東の差があり又就職して社会人になってからの本人の自覚と環境が関東関西の力の差を生み出しているのが現状だと考えられる。

技術的レベルにおいて差はたいして見られないが気力と体力において劣勢が見られる。気力体力に充分裏打ちされなければ自分の持つ技術を100%発揮することはできない。そこで関西の特に学生男子選手に申し上げたいのは選手各人が自覚の上、よい試合を数多く見て研究すること、脚を強くするため走ることに努力すること、手首のスナップを強化するトレーニングに励むことである。この三つのことだけでも毎日の練習課題として実行すれば二、三年内に学生一般男子とも関東と対等の試合が必ず出来るものと確信している。

積極的な交流を

鷲尾正一

学生時代4年間を関東で過ごし、早いもので大阪へ来て5年目を迎えました。こうした経歴から友人に関東と関西のちがいをよく聞かれます。

女子は別として男子の場合は、学生・社会人を問わず関東を負かすような選手の出てこないことが残念でなりません。

大阪へ来た当時、将来性のある選手を多く見かけたのに、なぜ関東に勝てないのかふしぎに思いました。

いろいろ考えてみて、体力・技術ではともかく、精神面における関東コンプレックスの大きいことに気づきました。高校時代にはなく、大学・社会人にとくに見られます。いちばん注目したいのは高校で活躍した選手がこぞって関東に進み、関西では同級生間にライバルが少なく、日々の練習に活気のないことが原因ではないでしょうか。インカレなどでもなんとなく萎縮した感じを受けます。必要なことは自信をつけさせることです。将来性のある若い選手をどしどし関東の大学の合宿に参加させ交流することによって、よい面を

チャンスを生かせ

西尾　真理子

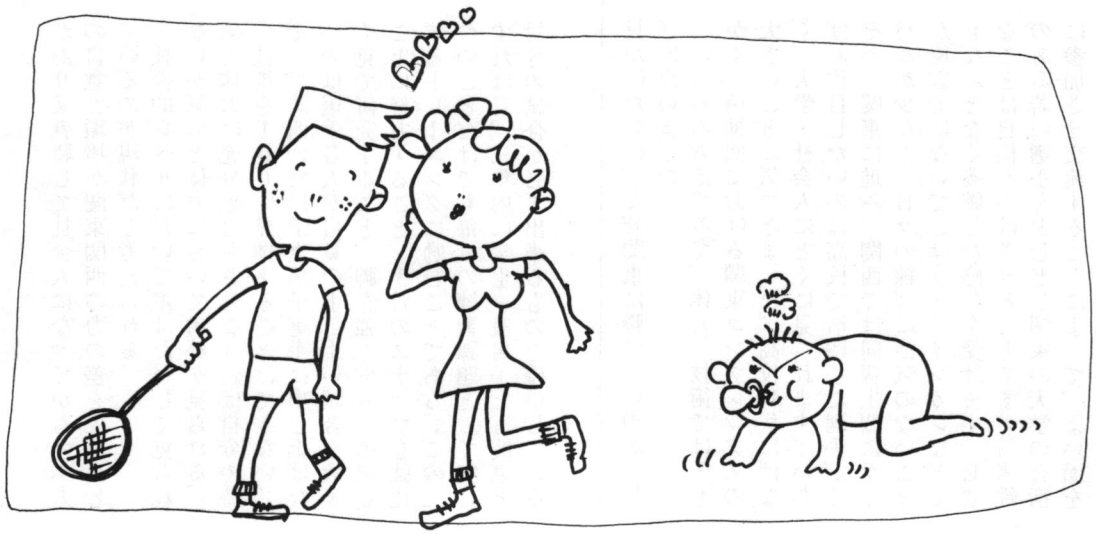
関西と関東についてこれまでにも色々と考えたことがありましたが、ピンと来るものがないまま、今も書いています。

私は関西と関東のプレーを味で例えてみると関東は口に入れた瞬間、〝アッウマイ〟といった答えがあり、関西は口に入れて少し味わっているうちに、〝ウーンナカナカウマイモノダ〟といった答えが返ってくるような、そんな気がします。

試合運びや技術面でも今までは違うと言われていましたが、それは関東に対する自信のなさが勝てる試合をのがしたり、ここ一本の思い切ったプレーが出なかったりする原因になっていたように思います。土台となるのは関西で、仕上げが関東というイメージを持っていたのですが今では色々な国際試合も東京だけではなく地方でも行なわれるようになったし、試合慣れや場数の差も少なくなりました。そうしてみると、最終的には数少ないチャンスをうまく利用し研究する態度を持つか持たないかが、今後を左右するのではないかと思います。（筆者は大阪四条畷学園、東京日体大卒、現在大阪サントリー勤務）（大阪バドミントン協会発行「広報」25号から）

吸収し日頃の練習に十分生かすことですが、そのような場を、我々が若い人々に与えてあげなければならないと思っています。（筆者は新潟新発田商工、東京中大卒、大阪スワロー化研勤務）





われらのクラブ ②

大阪中央YMCA バドミントンクラブ

北出　隆

YMCAといえば、ちょっとバドミントンの歴史を知っている人ならば御存知でしょうが、日本で最初に始めたのが横浜YMCAで、その後、大阪、東京等の各YMCAに伝わったとなっています。クラブとして活動していたかどうかは別として、昭和12年には、我会館で練習していたという記録が残っております。従って、大阪では一番古いという事になるでしょうが、現在は人数が多いという事が良いところでもあり、また問題点でもあります。部員は男女半々の約50人のうち、15人位が初心者です。一応1週間に2回の練習は励行しているものの、短時間の上、天井の低いコート一面では練習というよりも、親睦の場となっているのが現状です。このような中でも過去には、数名の国体選手がおりましたし、大阪総合、実業団、府民祭にも好成績を残した事があります。現在はファミリーな雰囲気の中で社会体育として、「オールラウンドの体力作り」「健康管理の為のスポーツ」が重点目標となりつつあります。それというのも、YMCAの体育理念が、「スポーツを通じての健康な身体作り」にあるからです。もしYMCAのバドミントンクラブに入部希望の時には先ず、健康診断と3ヶ月間のオリエンテーションコースで基礎体力養成、社会生活に役立つ運動法、YMCA理念の理解等、運動と講義の両面からクラブ活動に備えての基礎を作る事が課せられています。又入部後は年に2回の健康診断と体力測定を通じ、各自の健康増進と体力向上をめざしています。この他、我クラブの特徴といえば、親睦中心というところにあります。今までにも7、8組のカップルが生まれ、その夫婦が愛児を連れて練習に参加し、部員が交替でその子のお守をするというほほえましい光景も見られます。当面の悩みは、こういうシステムですから当然競技の為のバドミントンをしようとする人達は敬遠しがちであり、その結果有力な新人が現れず、ここ2、3年は試合に出る顔ぶれが変わらない事です。しかし、いろいろな人が日常バドミントンを楽しめる場として、バドミントンの普及と社会体育の向上に役立ちたいと思っております。（大阪バドミントン協会発行「広報」26号から）



幸せボロボロ あなたはいらない

一年のうち、約半分は出張する夫。「今度はいつ帰って来る？」とさびしく送り出し、あとは子供二人と、何かもの足りない毎日をすごしていた。

ある日、ふと目にとめた婦人サークルの案内に、「バドミントンをしませんか」の誘い文句。子供の手をひき、近くの体育館までのぞきに行った。はつらつとした奥さんたちの姿に、何かまぶしいものを見るようで、その場で入会届を出して、次の練習日から早速通いはじめた。

学生時代に、ずっと軟式庭球をやっていたが、卒業して以来、スポーツらしいスポーツをするのは十年ぶり。けれど、スポーツをするのが、こんなに楽しいものとは知らなかった。

学生時代のスポーツは、毎日遅くまで辛い練習で、どうやってサボってやろうかと、そればかり考えていたのに、今は走りまわって、ハネを追いまわすのが楽しく、また、汗をかくことが、こんなに気持ちのよいものだったのかと、もうバドミントンに熱中して二カ月。週二回の練習日が待ち遠しく、練習がある日は、早起きをして、炊事、洗たくと超スピードで片づけて、いそいでかける。

もう夫がどんなに長い間出張しても、さびしくないようになったのに、当分自宅通勤で、しばらくは出張がないそうな。まったく皮肉なこと。

この二カ月、私は変わりました。主人がお酒を飲んで、遅く帰っても、何も言いません。休みの日、一人で魚釣りに行っても、にこやかに送り出します。

主人にやさしく、やさしくして、私はヘソクリをためて、それで、バトミントンのユニホームを揃えようと思っています。

（大野城市・豊美・29歳）

（週刊朝日から）

全日本総合選手権プログラムについて

全日本総合選手権大会のプログラムを、かつてモデルチェンジしたときは、筆者も一枚加わって、無い知恵をしぼり、ほぼ、現在の原型となるものが出来たと記憶している。

その年の主要な出来ごと、とくに国際的な問題、海外のニュースなど、ふだんは新聞や〝バドミントン界〟でも、あまり目に触れないようなものを、わかりやすくダイジェストしたり、豆知識に関するものを盛り込んだりした。年間主要競技会の成績なども、できるだけ収録した。

要するに、この一冊で〝バドミントン・ハンドブックと年鑑〟の代わりになるようなものを、との前提でいろいろ、やってみた。最近は、予算か、人手か、面倒だということか、当時の匂いが薄れてきている。残念なことだ。

しかし、それはそれとしても、記者という立場から、今後、ぜひやってほしいことを、一つだけ注文しておく。それは参加選手一覧を、組合せ表とは別に、つけてもらいたい、ということだ。

年齢（大会時点での）身長、体重、出身校、主要タイトルまたは成績。こういったことは、報道陣が、記事を書く場合に大変重要な材料になることが多い。逆にいうと、データに触発されて記事にしたくなる場合だって、ないとはいえないからだ。

実際、人間の記憶はあいまいなものだから、確かめられないために、ある話を書くのを断念することもあるし、うっかり書いて間違いを犯すことだってある。

はて、小島選手は三十歳をいくつ越したのだったろうか、秋山選手は？　湯木が初めて海外に行ったのは何年の何の大会だったろうか。知る必要が出たときに、すぐ本人をつかまえられればいい。だが、手元にいつもデータがあれば安心というものだ。

この種のデータは、なにも報道陣の仕事の手間を省くというだけではない。観客の大多数は、選手を個々によく知らないだろうからデータがあれば、大きい理解の手助けになるはずだ。

「バドミントンにはテニスや卓球より、体の大きい人が多いのね」とか「へえ、三十歳すぎても、これだけがんばっているとは大したものだ」などと観客にわかることだけでも、バドミントン普及発展の一助といえる。

（後藤忠弘）

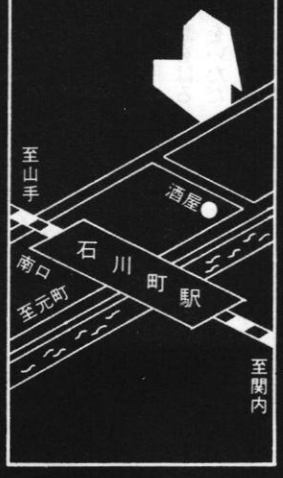
ラケットショップ元町

※ラケットお買上げの方先着3,000名様にラケット掛けを進呈致します。

●横浜店

☎045-651-2020

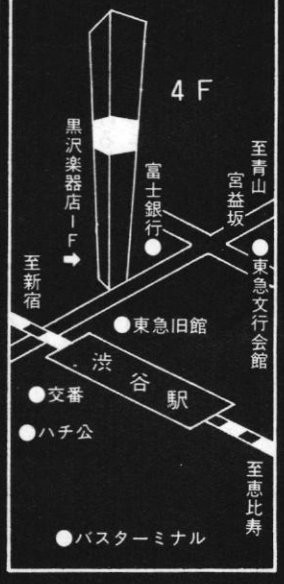
バドミントン
テニス
プロショップ



●渋谷店

☎03-400-7390

世界で初めての
バドミントン
プロショップ



日本協会30周年に 各界からのお祝い

昨年12月8日昭和51年度全日本総合選手権大会開会式と同時に行われた日本バドミントン協会創立30周年記念式典には、文部省スポーツ課長の望月健一氏はじめ次の方々がご列席下さった。

日本体育協会飯沢重一専務理事／同近藤天理事／同大西鉄之祐理事／同岡野俊一郎理事／関連企業社長／都道府県協会会長／元トマス杯・ユーバー杯選手／全日本総合選手権大会出場者／日本協会会長はじめ役員

また、日本体育協会理事近藤天氏をはじめ次の方々からお祝いを頂載した。

㈱はたの工芸社社長幡野保雄氏／河崎ラケット工業株式会社殿／東亜合繊株式会社殿／㈱諸江製作所代表取締役諸江秀一氏／ヨネックススポーツ㈱代表取締役米山稔氏／㈲ジャワ商会代表取締役小関三郎氏／㈱トヨダスポーツ代表取締役吉川喜久男氏／メトロレジャー㈱代表取締役道善作氏／神奈川県協会会長穴水清彦氏／広島県協会会長大野辰雄氏／東京都協会殿／日本協会参与伊沢三郎氏／日本協会参与今井先氏／日本協会参与角田賢三氏／日本協会参与宮沢宏之氏／日本協会副会長森友徳兵衛氏／日本協会副会長柴田勝治氏／東京12チャンネル殿／宮城県協会会長浅野喜代治氏、この他多くの祝電もいただいた。

読者と編集者

■今月号バドミントン界「実業団バドミントン選手権大会特集」楽しく読ませていただきました。とくに写真集は、仲間といろいろ話し合い、参考にと思っています。

（佐賀市高木瀬町・小柳佐知子）

――これからも「目で見る技術講座」など、連続写真を使ったもの、一枚もののグラフ集などを企画しています。また解説陣を充実させ、実戦に役立つように準備を進めていますのでご期待ください。

■貴誌の届くのをいつも楽しみにしています。相沢マチ子さんの手記など読みたい気もしますが……。

（砂川市三砂町・西田純）

――手記だけでなくインタビュー構成のものや座談会も予定しています。

■皆様のご苦労にいつも感謝申し上げております。毎回大変楽しみに、有意義に拝読させていただいております。今後ともよろしくお願いいたします。

（宮崎市恒久・小川智已）

――どうもありがとうございます。編集部一同非力ながら今年こそ、内容充実を実現させますので、よろしくご指導ご協力ください。

■12月は全日本総合も行われ、貴編集部も多忙のことと存じますが、たのしい写真・記事を期待しております。がんばってください。

（金沢市桜町・置塩良政）

――先月号につづき、今月号も全日本総合の写真を入れましたが、数百枚のなかからわずか30枚程度しか掲載できず残念です。

■毎月楽しみに「バドミントン界」を拝読いたしており、地域バドミントン・クラブの指導に励んでおります。さてかねてから希望のバドミントン・カレンダーを全国に発行される由喜びにたえません。

（喜多方市役所・関口明）

――カレンダーは予想をはるかに上回るお申込みをいただき、12月早々に品切れとなってしまい大変ご迷惑をおかけいたしました。早速増刷し12月25日に第二版ができ上りましたので順次発送いたしました。また地域における社会体育としてのご指導のエピソードをぜひ編集部あてお送りください。お待ちしております。

■遅れが少なくなったのはよいが、最近は内容がないように思う。単にランキングや結果の羅列だったらやめてほしい。わざわざお金を払う意味がない。初心に帰ってガットの張り方やバックハンドの振り方などの記事をのせてほしい。

（秋田市広面・松田淳）

――きびしいご意見、編集部十分心がけます。記録やランキングも資料として欠かせないものですが、本末転倒にならぬよう注意いたします。技術指導などについて、ご希望を具体的におよせください。

（たとえば銭谷選手にスマッシュの打ち方を――など）お待ちしております。

■何かとお忙しいとは思いますが、発行時期の回復と、他競技の機関誌に負けない内容の充実（読みごたえ）をめざしてくださることを希望しております。

（岡山市西大寺・岡本次郎）

――皆様方のご意見・励ましが何よりの〝栄養源〟です。寒さに負けずがんばりますのでご期待ください。

公認審判昇級申請者一覧と判定

No.	所属協会	氏名	原級	判定	No.	所属協会	氏名	原級	判定
1	福岡県	伊藤篤治	3級	1418	35	北海道	名取昭	2級	652
2	〃	梶原嘉郎	〃	1419	36	〃	坂東俊	〃	653
3	〃	細川孝雄	〃	1420	37	〃	中田武夫	〃	654
4	〃	宮山昇三	〃	1421	38	〃	熊崎三知雄	〃	655
5	〃	中原貞弘	〃	1422	39	〃	益村博文	〃	656
6	佐賀県	倉岡毅	〃	不合格	40	〃	森田精一	〃	657
7	〃	山下行夫	〃	1423	41	〃	志賀久高	3級	1432
8	〃	中尾昌由	〃	1424	42	〃	西島勝	〃	1433
9	〃	常松厚生	〃	1425	43	〃	佐藤哲郎	〃	1434
10	〃	松尾佐代子	〃	1426	44	〃	茂木幸雄	〃	1435
11	〃	坂本純志郎	〃	1427	45	〃	茂木寿美子	〃	1436
12	〃	黒木哮	〃	1428	46	〃	菅沼寛	〃	1437
13	〃	江口純正	〃	1429	47	〃	吉田俊秀	〃	1438
14	〃	森博子	〃	1430	48	〃	赤間明徳	〃	1439
15	〃	船山正秀	〃	1431	49	東京都	太田耕貴	2級	633
16	〃	細田一三	〃	不合格	50	〃	五本木茂	3級	1404
17	〃	木原逸夫	2級	634	51	〃	野間英樹	〃	1405
18	〃	瀬戸口末次	〃	635	52	〃	金子孝規	〃	1406
19	〃	久保山八郎	〃	636	53	〃	伊藤誠彦	〃	1407
20	〃	江口義信	〃	637	54	〃	山崎博光	〃	1408
21	〃	小野順一	〃	638	55	〃	平沢卓夫	〃	1409
22	〃	宮野豪郎	〃	639	56	〃	根岸和子	〃	1410
23	〃	富康重	〃	640	57	〃	関敏夫	〃	1411
24	〃	古賀正義	〃	641	58	〃	鈴木潔	〃	1412
25	〃	向井清春	〃	642	59	〃	菅原幸雄	〃	1413
26	〃	中川洋一	〃	643	60	〃	増田稔	〃	1414
27	〃	牧山泰介	〃	644	61	〃	坂爪敏夫	〃	1415
28	〃	野口良治	〃	645	62	〃	細江政雄	〃	1416
29	〃	杉町義典	〃	646	63	〃	田中隆司	〃	1417
30	〃	久本浩二	〃	647	64	福岡県	中島俊文	2級	(再交付) 1403
31	〃	高柳静夫	〃	648	65	山口県	河野耕司	〃	658
32	〃	中尾守	〃	649	66	〃	三牧実夫	〃	659
33	〃	永松龍矢	〃	650	67	〃	三浦捷治	〃	660
34	〃	東田多美男	〃	651	68	〃	川岡智	〃	661

◆揃えて保存すればバドミントンの百科事典になる◆

バドミントン界バックナンバー販売一覧表

1号＝品切れ
2号＝品切れ
3号＝品切れ
4号＝品切れ
5号＝品切れ
6号＝品切れ
7号＝品切れ
8号＝品切れ
9号＝品切れ
10号＝品切れ
11号＝品切れ
12号＝品切れ
13号＝100円
▼インタハイ▼監督・選手の手記▼日本協会の組織と運営▼私の指導法
14号＝100円
▼教職員大会▼関西学生界の現状▼自衛隊でバドミントン
15号＝品切れ
16号＝品切れ
17号＝品切れ
18号＝100円
▼全日本総合選手権▼同大会写真グラフ▼バックハンドの徹底的研究
19号＝100円
▼アジア大会総まくり▼インドネシアバドミントン界の実情▼ルール100問▼百年の大計を考えよ
20号＝品切れ
21号＝100円
▼バドミントン発展のために▼全国に広げよう、ママさんバドミントン▼バドの守りと攻め
22号＝品切れ
23号＝品切れ
24号＝品切れ
25号＝130円
▼私たちの練習法▼インタハイ▼小島はハルトノになぜ勝てぬ▼ネットの話
26号＝130円
▼相沢・竹中特集▼ばどみんとん昔話▼ここがききたい▼勉強とクラブは両立するか
27号＝130円
▼中国をめぐる動きと現状▼黒潮国体▼学生界展望
28号＝130円
▼ホープ順調に成長▼女子学生界を展望する▼小島海外で活躍▼ワイド版〝読者の広場〟
29号＝130円
▼全日本総合選手権特集▼高木が女王にカムバック▼近づくユ杯▼代表選手を診断すれば
30号＝130円
▼第1回国際女子競技会▼世界をめざす▼全国の用具アンケート▼百万人のバド上達法
31号＝品切れ
32号＝130円
▼海外遠征総まくり▼近づくユ杯と海外情勢▼第一線選手アンケート
33号＝品切れ
34号＝130円
▼ユ杯の三連勝なる▼栄光と熱戦のあと▼神様に昇格した中山主将▼栄冠、涙あり
35号＝品切れ
36号＝品切れ
37号＝130円
▼ト杯アジア東地区決勝▼ミュンヘン五輪報告▼全国中学生大会▼百万人のバド上達法
38号＝品切れ
39号＝130円
▼鹿児島国体▼全日本学生選手権▼大衆スポーツ活動の基盤と現状▼バド72年10大ニュース
40号＝130円
▼47年度全日本総合選手権▼小島〝復活〟▼女子ホープは目白押し▼アマチュアリズムとは
41号＝130円
▼第2回国際女子競技会▼欧州の女王▼たくましく変身した欧州勢
42号＝品切れ
43号＝品切れ
44号＝品切れ
45号＝品切れ
46号＝130円
▼中国の実力とその周辺▼ハルトノ以外対抗できず▼中国×英国4戦の全記録
47号＝130円
▼第24回インタハイ▼金沢市工と四条畷に栄冠▼西村、単複ともに危げなし▼徳田〝中山二世〟
48号＝130円
▼第1回日中競技大会▼抜群のスピードとテクニック▼中国強し▼中国10戦全勝を飾る
49号＝130円
▼48年度全日本総合選手権▼小島輝くV7▼湯木も王座ガッチリ▼28回国民体育大会
50号＝130円
▼中国チームから得たもの▼日中大会における中国3選手（湯・侯・陳）に学ぶ連続写真
51号＝130円
▼第3回国際競技大会▼女子の活躍で日本選抜辛勝▼連載（小島一平）
52号＝220円
▼全英選手権大会▼湯木2度目の女王の座へ▼相沢・竹中3連勝ならず▼連載（小島、中山）
53号＝220円
▼全英選手権を終えて（湯木博恵、梅野尾昌一）▼スナップ写真集▼連載（小島、中山）
54号＝220円
▼第1回ピンナップ特集▼外国からの挑戦者たち
55号＝220円
▼第五回女子チャンピオンズ▼連載（小島、中山）▼バドミントンと私
56号＝220円

◆かんたんに本誌を綴じることのできる◆

バドミントン界専用合本バインダー受付中

●定価 500円（送料実費） お申込みはハガキで
◆濃紺布張り・金文字押し・ノリ，穴あけ不要◆

▼カナダオープンで池田・栂野尾優勝▼ビギナーへの手紙▼母と子大会▼連載（小島）
57号＝品切れ
58号＝220円
▼中国・インドネシアついに対決▼デンマークオープン写真集▼連載（小島，中山）
59号＝220円
▼第2回訪中友好試合▼教職員大会▼インタハイ▼アジア大会速報▼連載（小島）
60号＝品切れ
61号＝220円
▼第29回国民体育大会▼東，西日本学生選手権▼全英選手権大会（ギルクス，ハルトノ，グナラン）連続写真▼連載
62号＝品切れ
63号＝220円
▼全日本総合選手権▼同写真集▼連載（小島）
64号＝220円
▼第4回国際競技会▼湯木ギルクスに快勝▼英国強し▼第6回全日本チャンピオンズ
65号＝220円
▼母島のバドミントン▼内外展望台▼第1回全日本総合団体戦▼デンマークオープン
66号＝品切れ
67号＝品切れ・
68号＝220円
▼無念！ユ杯V4ならず▼湯木中山の大健闘もむなし▼バドミントンに賭けた青春・湯木
69号＝220円
▼ユ杯詳報▼湯木，中山マイペース▼相沢・竹中不調▼日本必死の防戦も及ばず
70号＝220円
▼インタハイ▼植野三冠に輝く▼男子は林田が制す▼東日本学生選手権
71号＝220円
▼ト杯東地区予選対香港▼日本完勝▼土田初出場で重責を立派に果たす
72号＝220円
▼全日本社会人大会▼小島，湯木が優勝▼全国の指導者に望むこと
73号＝220円
▼第4回日中競技会▼ヤングパワー林詩銓▼はつらつ劉霞▼中国ランキング
74号＝220円
▼全日本総合選手権▼小島不滅の金字塔▼湯木キズだらけの四連勝▼徳田白熱の善戦
75号＝220円
▼第30回国民体育大会▼神奈川が二年ぶり10度目の栄冠▼全日本学生選手権
76号＝220円
▼ト杯アジア東地区決勝対韓国▼日本9－0で完勝▼第5回国際競技会▼銭谷×シュナーゼ戦
77号＝220円
▼全日本総合選手権団体戦▼第7回全日本女子チャンピオンズ▼ジャカルタ新聞とユーバー杯
78号＝300円
▼全英選手権大会▼ハルトノ八回目の栄冠▼ギルクスは三冠王▼アジア招待大会▼スミラト中国勢を連破して優勝
79号＝300円
▼ト杯アジア地区決勝対マレーシア▼王国のバドミントンとスポーツ界▼夜明けの時代をふりかえって

★申込方法★
ハガキにご希望のナンバーと冊数を明記のうえ，左記あてお申し込みください。発送のさいに振込用紙を同封しますので，到着後代金をお振り込みください。
なお，毎週一回集計のうえ集中的に発送するシステムをとりますので，約二～三週間の時間的余裕をみてください。
本誌専用合本バインダーもぜひ同時にお申込みください。

★申込先★
〒150 東京都渋谷区神南 一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会出版局

◆The Badminton World '77 Calendar

1977年バドミントン・カレンダー

- ●好評発売中・定価 950円（送料実費）
- ●大型B3判 12ページ・オールカラー
- ●男女一流プレーヤーを網羅 在庫僅少

◆第7回世界女子バドミントン選手権大会記録

ユーバー杯奪還への道

- ●発売中・定価 1,000円（送料 120円）
- ●A5判 128ページ，うちカラー16ページ
- ●プレーヤー，指導者必読の書

編集室から

◇あけましておめでとうございます。今年もよろしく。

新年早々おわびで申し訳ありませんが、時間の制約もあり、また製作原価の高騰により8ページ減ページさせていただきました。2月、3月号もあるいは減ページになるかも知れませんが、増刊号（6月発行の予定）を郵送料のみでサービスする準備を進めていますのでご了承ください。

◇昨年末に刊行いたしましたバドミントン・カレンダーは、初版分が12月早々品切れとなり、すぐに増刷いたしました。しかし約20日ほどお待たせする結果になり申し訳ありませんでした。昨年お受けした方々にはすべてお送りしてありますので、万一未着の場合にはハガキでご連絡ください。残りがわずかとなってしまっていますので、至急ご連絡を。

◇また同時に発売いたしました本誌専用バインダーも品切れを起こしてしまい現在製作中です。間もなく出来上り、予約の皆様には順に発送いたしますので、しばらくお待ちください。

◇今月は「読者の声」をいくつか掲載させていただきましたが、どうぞご意見、ご希望、感想を遠慮なく編集部あてお送りください。誌上で採用の場合はバドミントン用品をお送りいたします。

◇来月号は、昨年のハイライトのグラフを中心にお届けいたします。

団体戦のもつ独特のムードを!!

〈昭和51年度全日本総合
バドミントン選手権大会・団体戦〉

と　き：昭和52年2月19日(土)20日(日)午前11時
ところ：国立競技場代々木第2体育館
入場料：当日券＝一　般　500円
　　高校生　300円
　　中学生　200円
　　前売券＝一　般　400円
　　高校生　200円
　　中学生　100円
主　催：日本バドミントン協会
割　引：日本バドミントン協会会員（会員カードの提示），バドミントン界読者（割引券），当日上記のいずれかをご持参ください。前売入場料でご観戦いただけます。

●問合せ先＝03－467－3111（代表）●

‖昭和51年度 大会予定カレンダー‖

◆すでに行われた大会

第26回全日本実業団選手権大会 6月25～30日（藤沢市）
第27回全国高等学校選手権大会 8月1～6日（中野市）
第15回全日本教職員選手権大会 8月11～15日（東京都）
第6回全国中学生大会 8月18～20日（仙台市）
第19回全日本社会人選手権大会 9月12～15日（宮崎市）
第5回日中競技大会 9月下旬～10月上旬（北京市・他）
第31回国民体育大会競技 10月25～28日（佐賀県牛津町）
第27回全日本学生選手権大会 10月26～31日（東京都）
第4回アジア選手権大会 10月29～11月7日（ハイデラバット市）
昭和51年度全日本総合選手権大会個人戦 12月8～12日（東京都）

◆開催の準備を進めている大会

昭和51年度全日本総合選手権大会団体戦 2月19～20日（東京都）
国際大会（招待）
第6回国際競技大会 2月11日～13日（東京都・他）
国際大会（派遣）
第20回全カナダオープン選手権大会 12月1～4日（トロント市）
第25回全デンマークオープン選手権大会 3月12～15日（コペンハーゲン市）
第67回全英オープン選手権大会 3月23～26日（ウエンブレー市）

バドミントン界　第87号　第9巻第1号　定価 300円

昭和52年1月1日発行
編集／発行人・秦　浩

©1977　無断転載を禁ず

発行所・日本バドミントン協会
郵便番号150 東京都渋谷区神南1－1－1　岸記念体育会館
電話　03－467－3111(代表) 内線351
振替　東京5-32193(協会)　東京5-9525(編集部)

印刷所・明宏印刷株式会社　東京都豊島区南大塚2－29－8

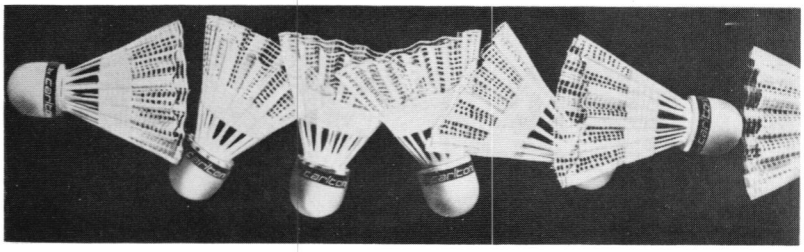
carlton

飛びが違う・カールトン。

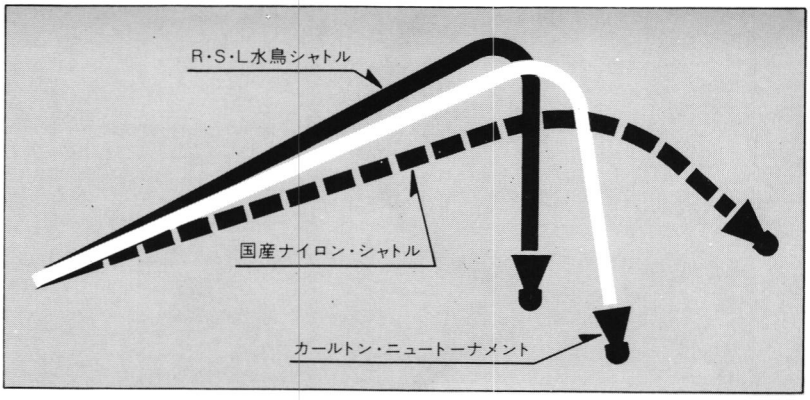
新しい2つの再開発で……水鳥シャトルに匹敵する高性能になりました。

ニュートーナメント

ターン・オーバーが速い。
白く見えやすい。



右の図はR・S・L(水鳥シャトル)、カールトン・ニュートーナメント、国産ナイロン・シャトルの飛行線を表わしたものです。
カールトン・ニュートーナメントが水鳥シャトルの飛び方にいかに酷似しているかおわかり頂けると思います。



日本バドミントン協会審査合格品 IBF(国際バドミントン連盟)公認球

●性能にうるさい方は

ニュートーナメント 1個 ¥280

●耐久性優先の方には

インターナショナル 1個 ¥220

(国産ナイロン・シャトルよりもはるかに良い性能と耐久力があります。)

※ニュートーナメントは世界各国の協会で、試合球として採用されています。

総発売元
メトロレジャー株式会社 〒101 東京都千代田区外神田5−6−4
☎(03)833−3661(代)

月刊「バドミントン界」第87号
昭和五十二年一月一日発行（毎月一回一日発行）
昭和四十四年十二月二十三日　第三種郵便物認可
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会　定価三〇〇円

このマークを語らずに

「世界の日本」は語れない。



NO.B-75〈エリート〉
モスグリーンメタリック（ケース付）
フレーム価格￥5,000



NO.B-73〈オールマン〉
ブルーメタリック（ケース付）
フレーム価格￥4,500

日本バドミントン協会推薦

カワサキラケット
河崎ラケット工業株式会社